

平成三十年度 東京都立墨田川高等学校

推薦に基づく選抜

小論文

注意

- 1 問題は2ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は五〇分で、終わりは午前九時五〇分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 答えはすべて解答用紙に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 受検番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 7 解答用紙の□の欄には答えを記入しないでください。

次の文章は、吉野源三郎『君たちはどう生きるか』の一節である。この文章は、中学二年生のコペル君に向けておじさんがノートブックに書き留めたメッセージの一部分である。以下の文章を読み、後の設問に答えなさい。

人間は、どんな人だって、一人の人間として経験することに限りがある。しかし、人間は言葉というものをもっている。だから、自分の経験を人に伝えることも出来るし、人の経験を聞いて知ることも出来る。その上に、文字というものを発明したから、書物を通じて、お互いの経験を伝えあうことも出来る。そこで、いろいろな人の、いろいろな場合の経験をくらべあわすようになり、それを各方面からまとめあげてゆくようになった。こうして、出来るだけ広い経験を、それぞれの方面から、矛盾のないようにまとめあげていったものが、①学問というものなんだ。だから、いろいろな学問は、人類の今までの経験を一まとめにしたものといっている。そして、そういう経験を前の時代から受けついで、その上で、また新しい経験を積んで来たから、人類は、野獣同様の状態から今日の状態まで、進歩して来ることが出来たのだ。一人一人の人間が、みんな一々、猿同然のところから出直したんでは、人類はいつまでたっても猿同然で、決して今日の文明には達しなかつたろう。

だから僕たちは、出来るだけ学問を修めて、②今までの人類の経験から教わらなければならぬんだ。そうでないと、どんなに骨を折っても、そのかいがなくなることになる。骨を折る以上は、人類が今日まで進歩して来て、まだ解くことが出来ないでいる問題のために、骨を折らなくてはうそだ。その上で何か発見してこそ、その発見は、人類の発見という意味をもつことが出来る。また、そういう発見だけが、偉大な発見といわれることも出来るんだ。

これだけいえば、もう君には、③勉強の必要は、お説教しなくてもわかってもらえると思う。偉大な発見がしたかったら、いまの君は、何よりもまず、もりもり勉強して、今日の学問の頂上にのぼり切ってしまう必要がある。そして、その頂上で仕事をするんだ。

しかし、そののぼり切ったところで仕事をするためには、いや、そこまでのぼり切るためにだって、——コペル君、よく覚えておきたまえ、——君が夜中に眼をさまし、自分の疑問をどこまでも追っていった、あの精神を失ってしまったてはいけぬのだよ。

問1 傍線部①「学問」とあるが、おじさんが言う「学問」とはどのようなものか。本文の言葉を用いて五〇字以内で答えなさい。、や。や「もなども、それぞれ字数に数えなさい。

問2 傍線部②「今までの人類の経験から教わらなければならないんだ」とあるが、あなた自身が誰かの経験を知っていたことにより問題を解決できた経験を、以下の書き方に従い、八〇字以内で述べなさい。、や。や「なども、それぞれ字数に数えなさい。

A 「私は〇〇という経験を知っていた。そのことにより、××という問題を解決できた。」という形で書くこと。

B 「××という問題」には、「〇〇という経験」がどのように役に立ったのかがわかるように書くこと。

問3 傍線部③「勉強の必要」とあるが、なぜ勉強する必要があると考えるか。あなたの考えを述べなさい。なお、書き出しや改行の際の空欄、
、や。や「なども、それぞれ字数に数え、三五〇字以上四〇〇字以内で述べなさい。